



マイクロハイファイ コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



XR-EM220

目次

この取扱説明書の使いかた	3
ディスクについて	3
<hr/>	
接続と準備	
準備 1：本機をつなぐ	4
準備 2：時計を合わせる	7
<hr/>	
CD　再生	
ディスクを入れる	8
ディスクを再生する	9
(ノーマル / シャッフル)	
くり返し再生する	10
(リピート)	
好きな順に再生する	10
(プログラム)	
<hr/>	
ラジオ	
ラジオ局を記憶させる	11
ラジオを聞く	13
<hr/>	
テープ　再生	
テープを入れる	15
テープを聞く	15
<hr/>	
テープ　録音	
ディスクを録音する	16
(シンクロ録音)	
好きなところから録音する	16
(マニュアル録音)	
<hr/>	
音の調整	
好みの音にする	17

タイマー

音楽を聞きながら眠る	18
(スリープタイマー)	
目覚ましとして使う	18
(再生タイマー)	
タイマーを使って録音する	20
(録音タイマー)	

表示

表示窓の表示を消す	21
(節電モード)	
表示を切り替える	21

別売りの機器を使う

別売り機器をつなぐ	22
別売り機器の音を本機のスピーカーで聞く	22
市販の外部アンテナをつなぐ	23

故障かな？と思ったら

症状と原因	24
メッセージ一覧	29

その他

使用上のご注意	30
保証書とアフターサービス	32
主な仕様	33
各部のなまえ	34
索引	36

録音についてのご注意

- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ・マイクロハイファイコンポーネントシステムの不具合により録音されなかった場合の録音内容の保証については、ご容赦ください。
- ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。

窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

この取扱説明書の使いかた

この取扱説明書では、主にリモコンによる操作を説明していますが、本体の同じ、または類似した名前のボタンを使っても同様の操作ができます。

ディスクについて

本機では次のディスクなどを再生できません。

- ・円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- ・紙やシールの貼られたディスク
- ・セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク
- ・市販されているシールやリングなどのアクセサリーを取りつけたディスク
- ・8cmディスクを標準ディスクに変換するアダプターを使用したディスク

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

CD-R/CD-RWについてのご注意

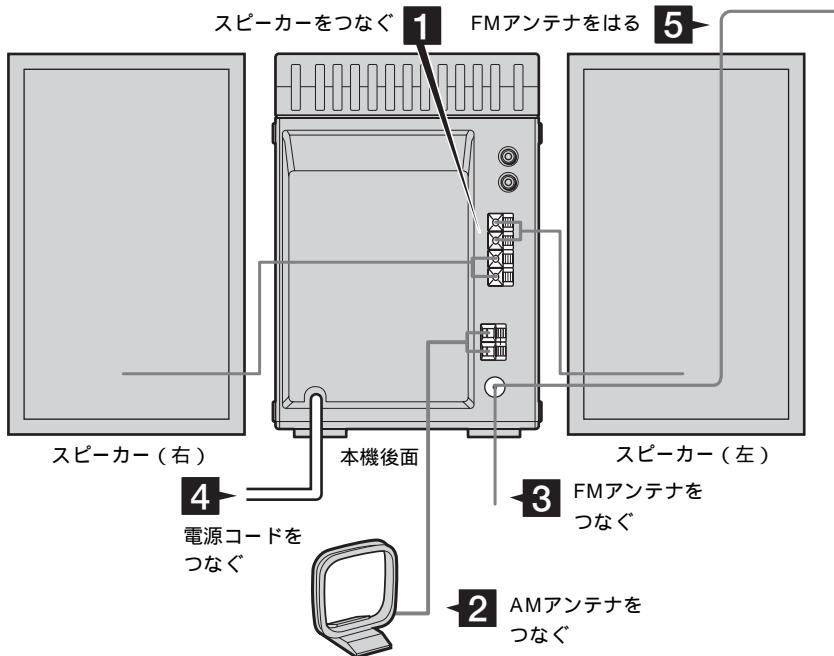
- ・本機はお客様が編集したCD-R/CD-RWに再生対応しています。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ・ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をしていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。

準備1：本機をつなぐ

付属のアンテナやコードを**1**～**5**の順につなぎます。

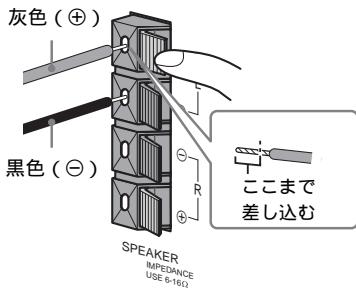
付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには市販の外部アンテナの接続をおすすめします。

外部アンテナを含め、別売り機器の接続については、22ページをご覧ください。



1 スピーカーをつなぐ

本機のスピーカー端子に、スピーカーコードをつなぐ。



ご注意

- スピーカーコードはアンテナから離してください。ラジオ局受信時の雑音の原因になります。
- 付属のスピーカーには、右／左用の区別はありません。向かって右に置いたスピーカーを「R」と書かれた本機のスピーカー端子につなぎ、左に置いたスピーカーを「L」と書かれたスピーカー端子につないでください。

2 AMアンテナをつなぐ



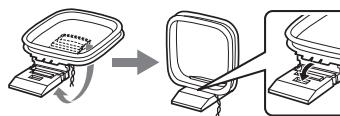
アンテナ

AMの電波を受信しやすい形状、長さになっています。はずしたり、丸めたりしないでください。

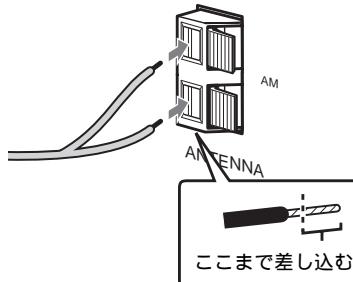
- ループ(~~~~~)になっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。

- スタンド状に組み立てる。

台を起こし、溝にはめます

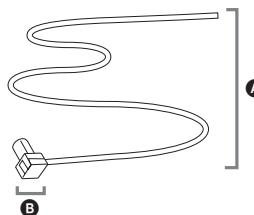


- AMアンテナ端子のレバーを倒してアンテナコードの芯線を差しこみ、レバーを戻す。



- アンテナコードを軽く引いてみて、しっかりと接続されたことを確認する。

3 FMアンテナをつなぐ

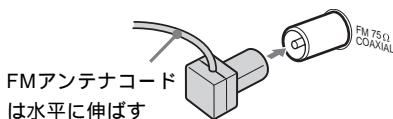


- A** 受信状態の良い方向へ向け、壁や天井にはりつける。全体がアンテナになっています。丸めたりしないでください。

- B** アンテナ端子への差し込み部分

FMアンテナ端子へつなぐ

- 1 アンテナコードの差し込み部分❸をFMアンテナ端子に差し込む。



- 2 アンテナコードを軽く引いてみて、正しく接続されたことを確認する。アンテナコードが端子から抜けてしまったときは、もう一度つなぎ直してください。

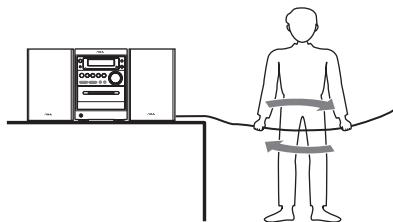
4 電源コードをつなぐ

すべての接続を終えたら、壁のコンセントへ電源プラグを差し込みます。

5 FMアンテナをはる

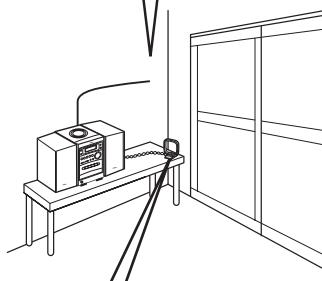
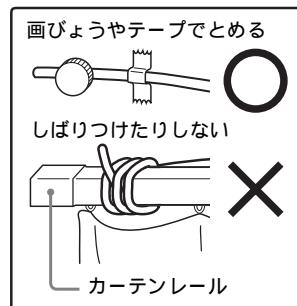
「手動受信してプリセットする」(12ページ)の手順5でFM局を選んで受信した後、次のようにアンテナを壁や天井にはってください。

- 1 両手でアンテナの先を持ち、体の向きを変えながら受信状態のよい向きを探す。



壁にはるときは、受信状態のよい壁面を探してください。

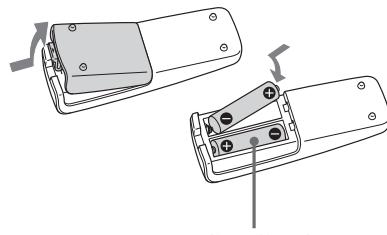
- 2 方向が決まつたら、画びょうやテープではりつける。



AMアンテナは、できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や、向きを変えて受信しやすい状態を探します。

リモコンに電池を入れる

必ずイラストのように●極側から電池を入れてください。



ご注意

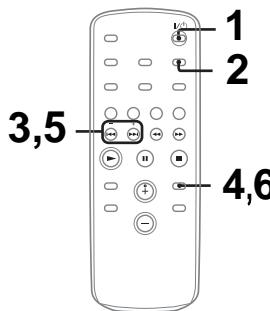
- ・乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - \oplus と \ominus の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混せて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- ・リモコンを使うときは、リモコン受光部  に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

準備2：時計を合わせる

タイマー録音などのタイマー機能を使うためにも、あらかじめ時計を合わせておきます。



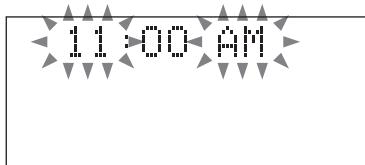
1 電源を入れる

2 時計/タイマーの設定ボタンを押す

時計が表示され、「時」と「AM」が点滅します。

3 \blacktriangleleft または \triangleright を押して、「時」を合わせる

正午は0:00PM、真夜中は0:00AMです。



4 決定ボタンを押す

「分」が点滅します。

5 \blacktriangleleft または \triangleright を押して、「分」を合わせる

[次のページへつづく](#)

6 決定ボタンを押す 時計が動き始めます。

設定した時刻を変更する

1 電源を入れる

2 時計/タイマーの設定ボタンを押す

時計が表示され、「時」と「AM」が点滅します。

3 ▶◀または▶▶を押して 「CLOCK」を表示させ、決定 ボタンを押す。

4 「時計を合わせる」の手順3~6 を行う

ご注意

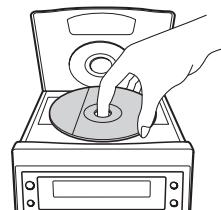
節電モード時は時計は表示されないので、時刻を設定することはできません（21ページ）。

CD 再生

ディスクを入れる

1 本体のOPENを押して、ディスクを入れる

文字の書いてある
面を上に、シング
ルCDは中央のく
ぼみに入れる



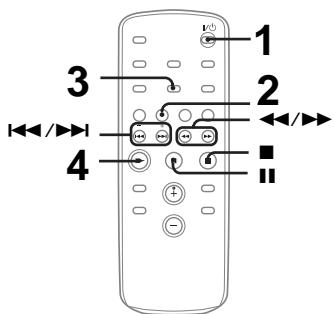
2 CDふたを閉める

ご注意

- 中古ディスク/レンタルディスクで、シールなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスクは使わないでください。本機の故障の原因になることがあります。
- レンズ部に触らないでください。レンズが汚れると、正常に演奏できなくなることがあります。

ディスクを再生する

(ノーマル/シャッフル)



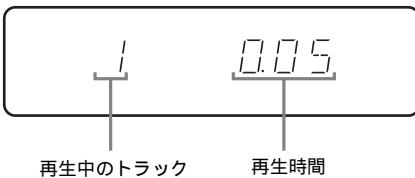
1 電源を入れる

2 CDボタンを押して、ファンクションをCDに切り換える

3 停止中に再生モードボタンをくり返し押して、好きな再生モードを選ぶ

こんなときは	表示(再生モード)
ディスク通りの曲順で再生する	表示なし(ノーマル)
曲順を本機が自動的に選んで再生する	SHUF(シャッフル)
好きな曲順に再生する	PGM(プログラム) 「好きな順に再生する」(10ページ)をご覧ください。

4 ▶(または本体のCD▶▷)を押す



その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■を押す。
一時停止する	▶(または本体のCD▶▷)を押す。もう一度押すと、再生を開します。
曲を選ぶ(頭出し) 返し押す。	◀◀または▶▶をくり返し押す。
再生したい部分を探す(サーチ)	再生中または一時停止中に◀◀または▶▶を押し続け、聞きたいところで指を離す。

ディスクを取り出す

■を押し、ディスクの回転が止まったことを確かめてから、本体のOPENを押してCDぶたを開けてください。ディスクが回転しているときには開けると、ディスクを傷つけることがあります。

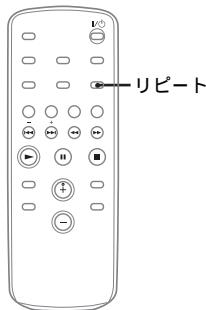
ご注意

- ・ディスクの再生中に再生モードを変えることはできません。
- ・多層ディスクなど、複雑な方式で記録されたディスクは、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ・ディスクが入れられると、本機はディスクに含まれている情報をすべて読み取ります。そのため、ディスクに入っているトラックの数が多いときは、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

くり返し再生する

(リピート)

1曲または全曲をくり返し再生します。プログラム再生をくり返すこともできます。



再生中にリピートボタンをくり返し押して「REP」または「REP1」を表示させる

REP : 再生中のディスク全体をくり返します（5回まで）

REP1 : 再生中の1曲だけをくり返します。

リピート再生をやめるには

リピートボタンをくり返し押して、「REP」または「REP1」を消します。

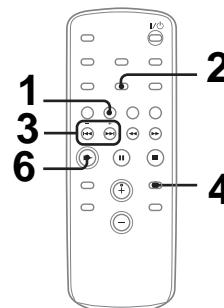
ご注意

「REP1」が選択されると、再生中の曲はリピート再生をやめるまで、くり返し再生されます。

好きな順に再生する

(プログラム)

最大25曲まで選んでプログラムできます。
プログラムした曲はテープにシンクロ録音できます（16ページ）。



1 CDボタンを押して、ファンクションをCDに切り換える

2 停止中に再生モードボタンをくり返し押して、「PGM」を点滅させる

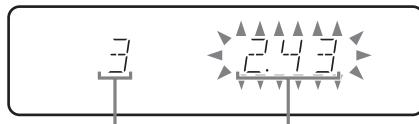
3 ◀◀または▶▶をくり返し押して、プログラムしたいトラックを選ぶ



選んだトラック

4 決定ボタンを押す

トラックが選んだ順にプログラムされます。
何トラック目にプログラムされたか(Step数)が表示された後、最後にプログラムしたトラックとプログラムしたトラックの合計再生時間が表示されます。



最後のトラック 合計再生時間

5 手順3、4をくり返す

6 ►を押す

プログラムした順に再生が始まります。

その他の操作

こんなときは	操作
ノーマル再生に戻す (ノーマル)	停止中に再生モードボタンをくり返し押して、「PGM」や「SHUF」を消す。
プログラムの最後に曲を追加する	停止中に手順3、4を行なう。
プログラムを消す	停止中にクリアボタンを押す。押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

ちょっと一言

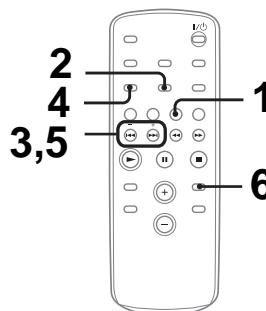
- ・プログラム再生が終わっても、プログラムは残っています。►(または本体のCD ►■)を押すと、同じプログラムを再生できます。ただし、CDふたを開けるとプログラムは消えます。
- ・ディスクの合計再生時間が100分を超えたときは、または選んだトラック番号が21以上のときは、「-----」と表示されます。

ラジオ

ラジオ局を記憶させる

リセット

FM放送を20局、AM放送を10局まで記憶(プリセット)させることができます。聞くときは、プリセット番号を選ぶだけで選局できます。



自動受信してプリセットする

地域で受信できるラジオ局を自動的に選び、記憶させることができます。

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 チューニングモードボタンをくり返し押して、「AUTO」を表示させる

次のページへつづく

3 + またはーを押す

周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「TUNED」と「STEREO」(FMステレオ放送のときのみ)が表示されます。
「TUNED」が表示されずに止まらないときは
「手動受信してプリセットする」(12ページ)の手順2、3で聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

4 チューナーメモリーボタンを押す

プリセット番号(記憶させる番号)が点滅します。点滅している間に手順5、6を行ってください。



5 + またはーをくり返し押して、記憶させたい番号(プリセット番号)を選ぶ

FMは1~20、AMは1~10から選びます。

6 決定ボタンを押す

7 手順3~6をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

手動受信してプリセットする

周波数をあわせて、好きなラジオ局を記憶させることができます。

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 チューニングモードボタンをくり返し押して、「AUTO」や「PRESET」を消す

3 + またはーを押して、受信したいラジオ局の周波数に合わせる

4 チューナーメモリーボタンを押す

5 + またはーをくり返し押して、記憶させたい番号(プリセット番号)を選ぶ

FMは1~20、AMは1~10から選びます。

6 決定ボタンを押す

7 手順3~6をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

ちょっと一言

自動受信を途中でやめたいときは、■を押します。

その他の操作

こんなときは	操作
電波の弱いラジオ局を受信する	手動受信してプリセットするの手順で受信する。
プリセットした番号に別のラジオ局を記憶させる	手順1からやり直す。 手順4の後で+または-をくり返し押して、別のラジオ局を記憶させたいプリセット番号を選びます。

ちょっと一言

- 停電になったり電源コードを抜いても、記憶させたラジオ局は約1日保持されます。
- 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、はる位置を変えてみてください。それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします（23ページ）。

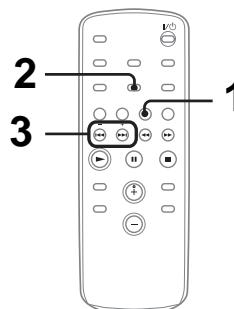
ラジオを聞く

好きなラジオ局をあらかじめ本機に記憶させて聞くことができます（プリセット受信）。

また、周波数を合わせて記憶させていないラジオ局を聞くこともできます（マニュアル受信）。

FM放送でテレビの音（1～3チャンネル）を聞くこともできます。

ラジオ



記憶させたラジオ局を聞く (プリセット受信)

あらかじめ本機にラジオ局を記憶させておきます（11ページ）。

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 チューニングモードボタンをくり返し押して、「PRESET」を表示させる

3 +または-をくり返し押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ

[次のページへつづく](#)

周波数を合わせてラジオを聞く (マニュアル受信)

1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 チューニングモードボタンをくり返し押して、「AUTO」や「PRESET」を消す

3 +または-をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる

テレビの音を聞く

1 TUNER BANDをくり返し押して、「FM」を選ぶ

2 +または-をくり返し押して、受信したいテレビチャンネルの周波数に合わせる

チャンネル	周波数
1チャンネル	95.75MHz
2チャンネル	101.75MHz
3チャンネル	107.75MHz

ご注意

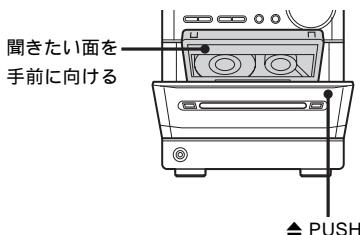
- ・テレビの音は、ステレオ音声では受信できません。
- ・音声多重放送は、主音声のみ受信します。
- ・VHF4～12チャンネルとUHFは受信できません。
- ・受信状態が悪いときは、本機をテレビから放すか、またはテレビの電源を切ってください。
- ・地域によっては、テレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

ちょっと一言

- ・受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、はる位置を変えてみてください。
- それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします(23ページ)。
- ・FMステレオ放送受信中、雑音が多いときはFMモードをくり返し押して「MONO」を表示させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。
- ・「周波数を合わせてラジオを聞く(マニュアル受信)」(14ページ)の手順2で「AUTO」を表示させ、+または-を押すと、周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まります(自動受信)。
- ・ラジオを録音したいときは「好きなところから録音する」(16ページ)をご覧ください。
- ・ラジオ局を受信中に時間を見たいときは、表示切替ボタンを押すと、時間が表示されます(約8秒間)。

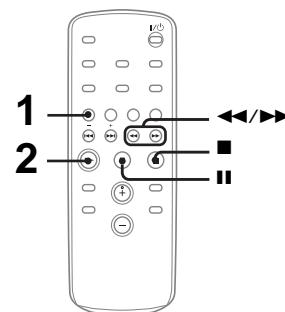
テープを入れる

本体の▲ PUSHを押してテープを入れる



テープを聞く

本機はTYPE I(ノーマル)のテープにのみ対応しています。



1 TAPE ボタンを押してファンクションをTAPEに切り換える

2 ▶を押す

おもて面の再生が始まります。うら面を聞くには、テープを裏返してください。

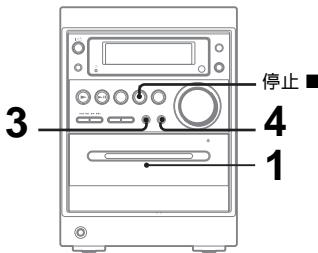
その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■を押す。
一時停止する	■■を押す。もう一度押すと再生を再開します。
早送りまたは巻き戻しする	◀◀または▶▶を押す。
テープを取り出す	停止中に▲ PUSHを押す。

ディスクを録音する

(シンクロ録音)

1枚のCDをそのままテープにアナログ録音できます。TYPE I(ノーマル)のテープをお使いください。



1 録音用のテープを入れる
録音したい面を手前に向けて入れます。

2 CDを入れる

3 CD シンクロボタンを押す
「SYNC」と「REC」が表示されます。
テープは録音一時停止に、CDは再生一時停止になります。

4 ● 録音 一時停止/スタートを押す

録音が始まります。

録音が終わると、CD、テープとも自動的に停止します。

録音を止める

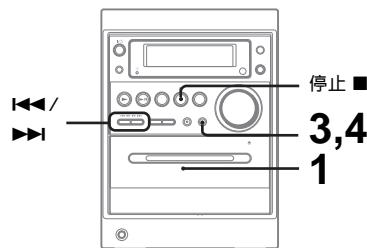
停止 ■を押す。

CDの好きな曲だけを録音するには
プログラム機能を使って、好きな曲を選んで
から録音することもできます。手順2と3の
あいだで「好きな順に再生する」(10ペー
ジ)の手順1~4の操作を行います。

好きなところから録音する

(マニュアル録音)

CDやラジオからお好みに応じて録音ができます。例えば、CDの好きな部分だけを録音することができます。



1 録音用のテープを入れる
録音したい面を手前に向けて入れます。

2 録音したい音源を準備する

- TUNER：本機のラジオの音を録音する
- CD：本機のCDの音を録音する
- MD：本機のMD入力端子につないだ別売り機器の音を録音する

3 ● 録音 一時停止/スタートを押す

「REC」が表示され、テープが録音一時停止になります。

4 ● 録音 一時停止/スタートを押してから録音したい音源の再生を始める

録音が始まります。

その他の操作

こんなときは	操作
録音を止める	停止 ■を押す。
録音を一時停止する	● 録音 一時停止/ スタートを押す。

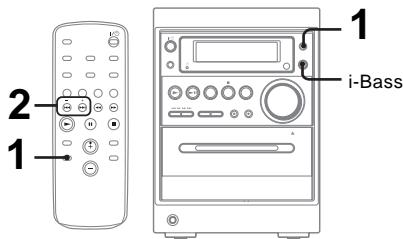
ちょっと一言

CDの音を録音するとき、手順3と4のあいだで◀◀
または▶▶を押して録音する曲を選ぶことができます。

音の調整

好みの音にする

低音や高音を調節したり、迫力のある音にできます。



音をダイナミックにする

本体のi-Bassを押す
もう一度押すと、元に戻ります。

低音または高音を調節する

- 1 サウンドボタンをくり返し押して、「BASS（低音）」または「TREBLE（高音）」を選ぶ
押すたびに次のように変わります。
BASS ↔ TREBLE
- 2 「BASS」または「TREBLE」が表示されている間に、+または-をくり返し押して、好みのレベルを選ぶ

タイマー

音楽を聞きながら眠る

(スリープタイマー)

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分単位で設定できます。



スリープボタンを押す

押すたびに時間が次のように変わり、しばらくすると元の表示に戻ります。表示された時間がたつと、電源が切れます。

→ OFF (スリープ解除) → AUTO*
10min ← ... ← 80min ← 90min ←

* 100分たつと電源が切れます。また、再生中のCDやテープが終了すると、自動的に電源が切れます。

こんなときは	操作
残り時間を確認する**	スリープボタンを1回押す。
途中で時間を見る	スリープボタンを押して、時間を選び直す。
スリープタイマーを解除する	スリープボタンをくり返し押して、「OFF」を表示させる。

**「AUTO」に設定しているときは確認できません。

ご注意

テープにシンクロ録音するときは「AUTO」に設定しないでください。

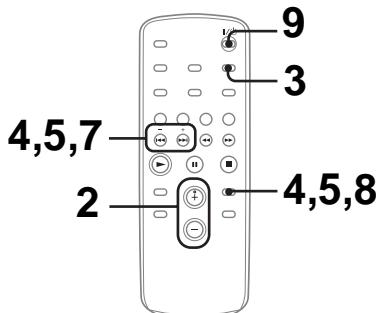
ちょっと一言

スリープタイマーは、時計合わせをしていなくても設定できます。

目覚ましとして使う

(再生タイマー)

毎日指定した時刻に自動的に電源が入り、切れるように設定できます。操作の前に、時計を合わせておきます(7ページ)。



1 CDなどの音源を準備する

- CD : CDを入れる。好きな曲から再生したいときはプログラムする(10ページ)
- テープ : カセットテープを入れる。
- ラジオ : プリセット受信する(13ページ)

2 音量 + または - を押して音量を調節する

3 時計/タイマーの設定ボタンを押す

4 ◀◀または▶▶をくり返し押して「PLAY」を表示させ、決定ボタンを押す

「ON TIME」が点灯し、「時」が点滅します。

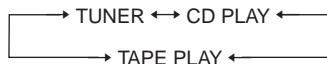
5 開始時刻を合わせる

- ◀◀または▶▶をくり返し押して「時」を合わせ、決定ボタンを押す。
 「分」が点滅します。
 次に、◀◀または▶▶をくり返し押して「分」を合わせ、決定ボタンを押す。
 再び「時」が点滅します。

6 終了時刻を合わせる

手順5と同じ操作をして「時」「分」を合わせると、次に音源が表示されます。

7 ▶◀または▶▶をくり返し押して、音源を選ぶ 押すたびに、次のように変わります。



8 決定ボタンを押す

開始時刻、終了時刻、音源が順に表示され、元の表示に戻ります。

9 電源を切る

設定を変更する

手順1からやり直す。

タイマーを働かせる/解除する

- 1 時計/タイマーの選択ボタンを押す。
- 2 ▶◀または▶▶を押して、「PLAY」または「TIMER OFF」を表示させ、決定ボタンを押す。

設定を確認する

- 1 時計/タイマーの選択ボタンを押す。
- 2 ▶◀または▶▶を押して、「PLAY」を表示させ、決定ボタンを押す。最後に設定した内容が表示されます。

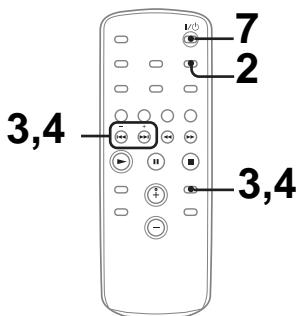
ご注意

- ・録音タイマーと同時には使用できません。
- ・スリープタイマーを同時に使用した場合は、スリープタイマーの設定が優先されます。
- ・電源は開始時刻の約15秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- ・開始時刻の約15秒前にすでに電源が入っていると再生タイマーは働きません。
- ・MD入力端子につないだ機器は再生タイマーの音源としては使用できません。
- ・設定の変更は節電モード時にはできません。

タイマーを使って録音する

(録音タイマー)

本機のラジオからタイマー録音ができます。
あらかじめラジオ局を記憶させ(11ページ)
時計を合わせておきます(7ページ)。



1 録音したいラジオ局をプリセット受信する(13ページ)

2 時計/タイマーの設定ボタンを押す

3◀◀または▶▶をくり返し押して、「REC」を表示させ、決定ボタンを押す
「ON TIME」が点灯し、「時」が点滅します。

4 開始時刻を合わせる

◀◀または▶▶をくり返し押して「時」を合わせ、決定ボタンを押す。
「分」が点滅します。
次に、◀◀または▶▶をくり返し押して「分」を合わせ、決定ボタンを押す。
再び「時」が点滅します。

5 終了時刻を合わせる
手順4と同じ操作をして「時」「分」を合わせます。
プリセットした内容が表示されて、元の表示に戻ります。

6 録音用のテープを入れる

7 電源を切る

設定を変更する
手順1からやり直す。

タイマーを働かせる/解除する

1 時計/タイマーの選択ボタンを押す。
2◀◀または▶▶を押して、「REC」または「TIMER OFF」を選び、決定ボタンを押す。

設定を確認する

1 時計/タイマーの選択ボタンを押す。
2◀◀または▶▶を押して、「REC」を表示させ、決定ボタンを押す。最後に設定した内容が表示されます。

ご注意

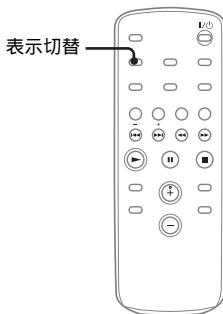
- ・再生タイマーと同時には使用できません。
- ・スリープタイマーを同時に使用した場合は、スリープタイマーの設定が優先されます。
- ・電源は開始時刻の約15秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- ・開始時刻の約15秒前にすでに電源が入っていると録音タイマーは働きません。
- ・MD入力端子につないだ機器は録音タイマーの音源としては使用できません。
- ・録音中、音量は最小になります。
- ・設定の変更は節電モード時にはできません。

表示

表示窓の表示を消す

(節電モード)

表示窓の時計表示を消して、電源を切った状態での消費電力を最低限におさえることができます(節電モード)。



電源を切った状態で表示切替ボタンをくり返し押して、時計表示を消す
節電モードに切り換わります。

節電モードを解除する

電源を切った状態で、表示切替ボタンをくり返し押す。押すたびに表示窓が次のように切り換わります。

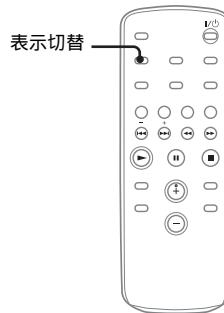
時間表示 ↔ 非表示(節電モード)

ちょっと一言

- 「I/」(電源)は節電モード時も点灯します。
- 節電モード時も、タイマーは働きます。

表示を切り替える

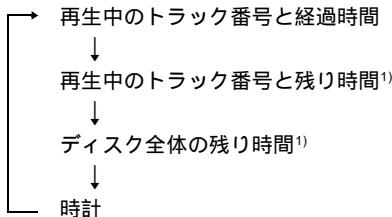
ディスク全体または1つのトラック(曲)の残り時間、ディスク名やトラック名を見るこ
とができます。



表示切替ボタンを押す

押すたびに次のように変わります。

ノーマル再生中



¹⁾ 残り時間が100分を超えたとき、または再生中の
トラック番号が21以上のときは「- - - -」が
表示されます。

停止中

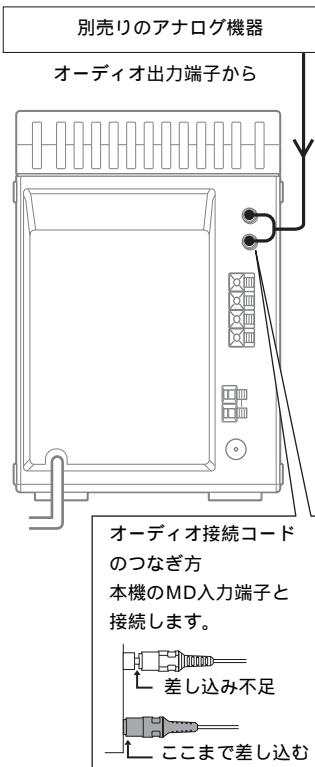
ディスクの総曲数と合計再生時間



別売りの機器を使う

別売り機器をつなぐ

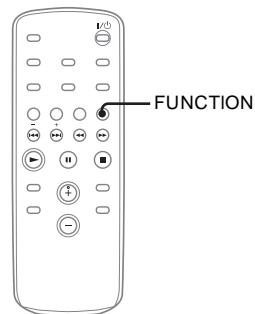
つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



MD入力端子

オーディオ接続コード（別売り）を使って、別売り機器（MDデッキなど）をつなぎます。本機でアナログ音声を録音したり、聞いたりできます。

別売り機器の音を本機のスピーカーで聞く



1 オーディオ接続コードをつなぐ
「別売り機器をつなぐ」(22ページ)をご覧ください。

2 FUNCTIONをくり返し押して、「MD」を表示させる
別売り機器の再生を始めてください。

ちょっと一言

- 別売り機器の音を録音するには、16ページの「好きなところから録音する」をご覧ください。
- イコライザーアンプが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続するときは、本機とプレーヤーの間に、MM型またはMC型に対応のカートリッジイコライザー（別売り）をつないでください。イコライザーアンプが内蔵されているかどうかや、MM型かMC型かについては、お使いになっているプレーヤーの製造元へお問い合わせください。

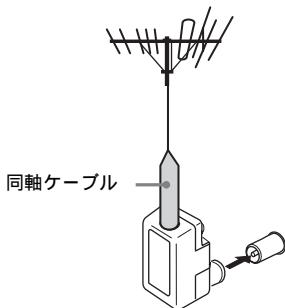
市販の外部アンテナをつなぐ

付属のアンテナでうまく受信できないときにつなぎます。

FMアンテナをつなぐ

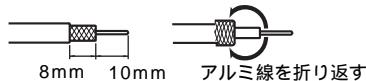
市販のFM屋外アンテナを設置するか、またはテレビのVHFアンテナと共にします。市販の75Ω同軸ケーブルを使ってつなぎます。同軸ケーブルを使うと、雑音の影響を受けにくくなります。同軸ケーブルは3C-2Vが適当です。

屋外アンテナの購入、取り付けについては、本機をお買い上げいただいた販売店へご相談ください。

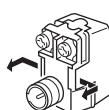


同軸ケーブルのつなぎかた

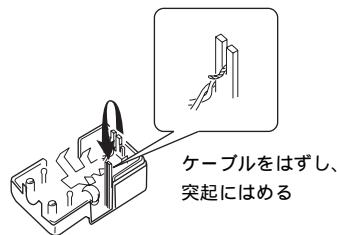
1 ケーブルの先端を処理する。



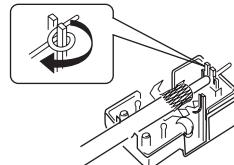
2 市販のアンテナコネクターのふたをはずす。



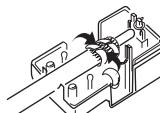
3 アンテナコネクター内のケーブルをはずし、突起にはめる。



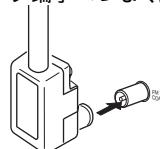
4 芯線を根元まで差し込んで巻きつける。



5 金具をベンチなどでしめつける。

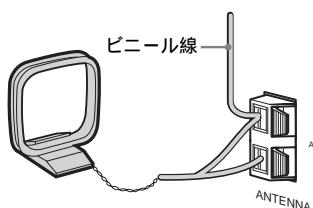


6 FMアンテナ端子へつなぐ。



AMアンテナをつなぐ

市販の6~15mのビニール線を、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。付属のAMループアンテナはつないだままにしておきます。



症状と原因

修理に出す前に、以下の表を読んで、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、すぐに電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにお問い合わせください。

共通

症状	原因と対応のしかた
「 - - - - 」が表示される	電源コードを抜いた、または停電などにより、時計の設定が解除されている。 → 時計を設定し直す（7ページ）
音が出ない	ボリュームが小さい。 → 音量 + を押す。
	ヘッドホンを差したままになっている。 → ヘッドホンを抜く。
	スピーカーが正しく接続されていない。 → スピーカーコードを正しく接続し直す（5ページ）
音がおかしい	左右のスピーカーの高さ、距離が極端に違う。 → 高さ、距離をできるだけ対称にする。
	付属のスピーカー以外のスピーカーをつないでいる。 → 付属のスピーカーをつなぐ。
雑音が多い	テレビやビデオなど、ノイズを出す機器の近くに設置している。 → 離れたところに設置する。
	冷蔵庫など、ノイズを出す機器と同じ電源コンセントにつないでいる。 → 別の電源コンセントにつなぐ。
	→ 電源ラインのノイズフィルター（市販）を使用する。
タイマーが設定できない	・ 時計が設定されていない ・ 停電などにより、時計の設定が解除された。 → 時計を設定し直す（7ページ）
タイマーが働くかない	電源を切る前にタイマーが働くように設定していなかった。 → 時計/タイマーの選択ボタンを押して、表示窓に「①PLAY」または「①REC」を点灯させる（19、20ページ）
	誤った時間が設定されている。 → 設定内容を確認し、正しい時間を設定する（19、20ページ）
	スリープタイマーが働いている。 → スリープタイマーを解除する（18ページ）

症状	原因と対応のしかた
テレビ画面に色むらが起こる	本機のスピーカーをテレビの近くに設置している。 →スピーカーをテレビから離す。
リモコンで操作できない	リモコンと本体の間に障害物がある。 →障害物を取り除く。 リモコンと本体の距離が離れすぎている。 →近寄って操作する。
	リモコンの発光部が本体の方を向いていない。 →リモコンを本体に向ける。
	リモコンの乾電池が消耗している。 →乾電池（単3）を交換する。
	本体の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。 →本体と蛍光灯を離して設置する。

CD

症状	原因と対応のしかた
CDぶたが閉まらない	ディスクがトレイの中央に入っていない。 →トレイの中央にディスクを入れ直す。
再生が始まらない	ディスクが入っていない。 →CDぶたを開けて、ディスクが入っているか確認する。 ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 →汚れを拭き取る（30ページ）。 ディスクの傷がひどい。 →ディスクを交換する。 再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 →ディスクを交換する。 本機で再生できないディスクを入れている（3ページ）
	ディスクがずれて入っている。 →ディスクを正しく入れ直す。 ディスクが裏返しに入っている。 →印刷面を上にして、ディスクトレイに入れ直す。 本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 →ディスクを取り出してディスクの水分を拭き取り、本機の電源を入れたまま数時間待つ。
	ディスクが再生状態になっていない。 →▶（または本体のCD▶■）を押し、再生状態にする。

症状	原因と対応のしかた
音とびがする	<p>ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。</p> <p>→ 汚れを拭き取る（30ページ）。</p> <p>ディスクの傷がひどい。</p> <p>→ ディスクを交換する。</p> <p>レンズが汚れている。</p> <p>→ 汚れを拭き取る。市販のレンズ拭き取り用布をお使いください。</p> <p>再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。</p> <p>→ ディスクを交換する。</p> <p>本機に振動が加わっている。</p> <p>→ 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。</p> <p>→ スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。 低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。</p>
再生が1曲目から始まらない	<p>プログラム再生またはシャッフル再生になっている。</p> <p>→ 停止中に再生モードボタンをくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻す。</p>

チューナー（ラジオ）

症状	原因と対応のしかた
雑音に入る/受信できない	<p>放送局のバンド（FM/AM）、周波数が合っていない。</p> <p>→ バンドと周波数を正しく設定する（11ページ）。</p> <p>アンテナが正しく接続されていない。</p> <p>→ 正しく接続し直す（5ページ）。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アンテナが受信状態のよい場所に設置されていない。 • 電波が弱い。 <p>→ 受信状態のよい場所（窓の外など）や方向を探し、設置し直す（6ページ）。</p> <p>鉄筋、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属のFM簡易アンテナでは十分に受信できない場合があります。窓の外に設置しても受信状態がよくならない場合は、市販の外部アンテナをつなぐことをおすすめします（23ページ）。</p> <p>アンテナ的一部分を折りたたむ、束ねる、巻き取るなどしている。</p> <p>→ 付属のFM簡易アンテナは全体で受信しているため、余分に感じる部分もそのまま垂らしておく（6ページ）。</p> <p>→ 付属のFM簡易アンテナの先は、テープなどで壁にとめる（6ページ）。</p> <p>アンテナ的一部分をスピーカーコードといっしょに束ねている。</p> <p>→ スピーカーコードからできるだけ離す。</p>

症状	原因と対応のしかた
	<p>付属のAMアンテナのアンテナ線がプラスチックスタンドからはずれている。</p> <p>→ お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。</p> <p>電気器具の影響を受けている。</p> <p>→ 電気器具の電源を切ってみる。</p>
ステレオにならない	<p>モノラル受信の設定になっている。</p> <p>→ FMモードボタンをくり返し押して「STEREO」を点灯させる。</p> <p>AM放送を受信している。</p> <p>→ 本機ではAM放送をステレオ受信しません。</p> <p>受信状態が悪い。</p> <p>→ 症状「雑音が入る/受信できない」を参照し、アンテナの状態を確認する。</p>

テープ

症状	原因と対応のしかた
再生音や録音した音が小さい	<p>ヘッドが汚れている。</p> <p>→ ヘッドのお手入れをする（31ページ）。</p> <p>ヘッドが磁化している。</p> <p>→ ヘッドを消磁する（31ページ）。</p>
前の録音が完全に消えない	<p>ヘッドが磁化している。</p> <p>→ ヘッドを消磁する（31ページ）。</p>
音がとぎれる	<p>内部のピンチローラーなどが汚れている。</p> <p>→ 市販のクリーニングカセットを使って、お手入れする。</p>
雑音が多い	<p>ヘッドが磁化している。</p> <p>→ ヘッドを消磁する（31ページ）。</p>
録音できない	<p>テープが入っていない。</p> <p>→ テープを入れる。</p> <p>テープのツメが折れている。</p> <p>→ ツメの部分だけ穴をふさぐ（31ページ）。</p> <p>テープが最後まで巻きとられている。</p> <p>→ テープを巻き戻す。</p>

別売り機器

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	<p>本機が正しい状態になっていない。</p> <p>→ 共通「音が出ない」を参照し、本機の状態を確認する。</p>

症状	原因と対応のしかた
	<p>別売りの機器が正しく接続されていない。</p> <p>→ 以下の点を確認しながら正しく接続し直す(22ページ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続コードが正しい位置に接続されているか。 ・接続コードのコネクターがしっかり奥まで差し込まれているか。
	<p>つないだ機器の電源が入っていない。</p> <p>→ 電源を入れる。</p>
	<p>つないだ機器での再生が始まっていない。</p> <p>→ つないだ機器の説明書を見て、再生を始める。</p>
	<p>ファンクションが「MD」になっていない。</p> <p>→ FUNCTIONをくり返し押して、「MD」を表示させる(22ページ)。</p>
音が歪む	<p>MD入力端子につないだ機器からのアナログ録音中に、規定以上の大きな信号が入ってきた。</p> <p>→ 本機へ入力される音を小さくする。</p>
レコードプレーヤーからの音が小さい	<p>レコードプレーヤーを直接つないでいる。</p> <p>→ つないでいるレコードプレーヤーに、イコライザーが内蔵されているか確認する。内蔵されていないときは、本機とプレーヤーの間に、イコライザー(別売り)をつなぐ。</p>

これらの処置をしても正常に動作しないときは リセット

- 1 電源コードを抜く。
- 2 電源コードを入れる。
- 3 本体の停止 ■とI/Off(電源)を長押ししながら、本体の音量調節つまみを反時計回りに回す。設定がリセットされてお買い上げ時の状態に戻ります。ラジオ局のプリセットをやり直してください。

メッセージ一覧

使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

CD

メッセージ	原因と対応のしかた
NO DISC	ディスクが入っていない。
NO STEP	プログラムしたすべての曲が消去されている。
OVER	再生または一時停止中に▶▶を押し続け、ディスクの最後まで達した。 → ◀◀を押し続けるか、または◀◀を押して再生位置を戻す。
STEP FULL	26曲以上はプログラムできない。
PUSH STOP	再生中に再生モードボタンを押した。 → 再生中は再生モードの変更はできない。■を押して再生を停止させてから、再生モードボタンを押す。

チューナー（ラジオ）

メッセージ	原因と対応のしかた
COMPLETE	プリセット操作が正常に終了した。

テープ

メッセージ	原因と対応のしかた
NO TAB	誤消去防止のツメが折れているため、録音できない。 → A、B両面のツメの部分だけ穴をふさぐ（31ページ）
NO TAPE	テープが入っていない。

タイマー

メッセージ	原因と対応のしかた
SET CLOCK	時計を合わせていないのに、タイマーを設定しようとした。
PUSH SELECT	タイマーが働いているときに、時計やタイマーの設定をしようとした。
SET TIMER	再生タイマーや録音タイマーが設定されていないのに、タイマーを選択しようとした。
TIME NG	再生タイマーと録音タイマーの開始時間と終了時間が同じ時間に設定されている。

使用上のご注意

設置時のご注意

- オーディオ機器は、密閉した場所に置いて使用しないで、温度上昇を防ぐために風通しの良い所でお使いください。
- スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起りやすくなります。設置場所にご注意ください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本体およびスピーカーなどを置くときは、変色、染みなどが残ることがあります。

使用時の放熱について

- 使用中、本体の温度が上昇することがあります。故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板、通風孔はかなり熱くなります。このようなときは、キャビネットなどに触れないようにしてください。火傷などのけがの原因になります。
- また、動作中の温度上昇を避けるために空冷ファンを搭載している機器では、大きな音を出したときなどにファンが回転します。ファンの通風孔附近を塞いで使用すると、機器の温度が上昇して故障の原因になります。
- 電源を切っているにもかかわらず、本機の天板があたたかくなることがあります。電源コードがコンセントに差し込まれている限り、電源を切っているときでも本機の一部には電流が流れています。それらは、リモコンでの操作の待ち受けや、タイマー動作などのために使われています。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型ではありません。そのため、本機のスピーカーをテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起ります。テレビから離してお使いください。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15~30分後に再びスイッチを入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

移動時のご注意

- 必ずCDやテープを取り出してください。中に入ったまま動かすと、取り出せなくなることがあります。
- 移動する前に、電源が切れ、すべての動作が終了していることを必ず確認してください。

使用時のご注意

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。

ディスクの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機でお使いいただけるCDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いた後、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高音になるところには置かないでください。
- 中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどののりがはみ出したり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー本体の故障の原因となります。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので、使わないでください。

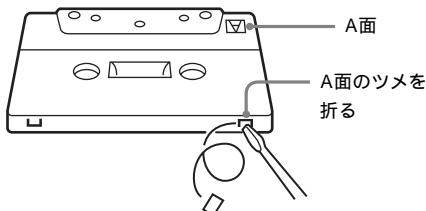
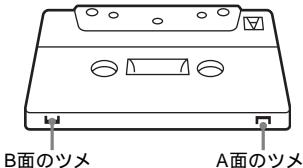
カセットテープを入れる前に

テープのたるみをとってください。たるんでいるとテープが巻き込まれて使えなくなることがあります。

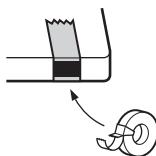
長時間テープの使用は避けてください

90分を超える長時間テープは、テープ自体が薄く伸びやすい性質となっています。そのため機械に巻き込まれ、本機の故障の原因となる場合があります。ご使用をお避けください。

テープの録音内容を消したくないときは
消したくない面の誤消去防止ツメを折ります。



ツメを折っても、折ったツメの部分だけ穴をふさげば再び録音できます。



ヘッドのお手入れ

ヘッドはおよそ10時間使うごとにクリーニングしてください。

汚れがひどくなると、音が悪い、音が小さい、音がとぎれる、前の音が消えないで残る、録音ができない、などの症状が出ます。

また、特に大切な録音をする前や古いテープを使用した後には、かならずクリーニングしてください。
別売りのクリーニングカセット（乾式）C-1KN、
または、クリーニングカセット（湿式）CHK-1をお使いください。詳しくはそれぞれのクリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

ヘッドを消磁する

ヘッドやテープのあたる金属部分は、20～30時間使うごとに別売りのカセットタイプのヘッド消磁器で消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の取扱説明書をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて
当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：XR-EM220
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

主な仕様

本体 (CX-LEM220)

アンプ部

実用最大出力	10W + 10W (JEITA* 6Ω負荷)
入力端子	MD入力端子 : 450mV、47kΩ
出力端子	ヘッドホン端子 : ステレオミニジャック、8Ω以上 スピーカー端子 : 適合インピーダンス 6 ~ 16Ω

CDプレーヤー部

形式	CDプレーヤー
信号方式	JEITA*標準
周波数特性	20Hz ~ 20kHz

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
周波数特性	ソニー TYPE Iカセット 50 ~ 13.000Hz

チュナー部

受信周波数	FM/テレビ (1 ~ 3ch) : 76 ~ 108MHz AM : 531 ~ 1,602/530 ~ 1,710kHz
アンテナ端子	FM : 75Ω 不平衡型 AM : 外部アンテナ端子

スピーカーシステム (SSX-LEM220)

型式	1ウェイバス反射型
使用スピーカー	フルレンジ10cm インピーダンス : 6Ω

その他

電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	40W : 通常動作時 (JEITA*) 0.3W以下 : スタンバイ (節電モード) 時
最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き、最大突起部含む)	アンプ/CDプレーヤー / カセットデッキ / チュナー部 : 164 × 230.5 × 266mm
	スピーカーシステム部 : 140 × 230.5 × 145mm
質量	アンプ/CDプレーヤー / カセットデッキ / チュナー部 : 3.4kg スピーカーシステム部 : 1.4kg (1台)

付属品

- リモートコマンダー (1)
- 単3形乾電池 (2)
- FM用簡易アンテナ (1)
- AMループアンテナ (1)
- 取扱説明書 (1)
- 安全のために (1)
- アイワご相談窓口のご案内 (1)
- 保証書 (1)
- テクニカルインフォメーションセンター
のご案内 (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更するこ
とがありますが、ご了承ください。

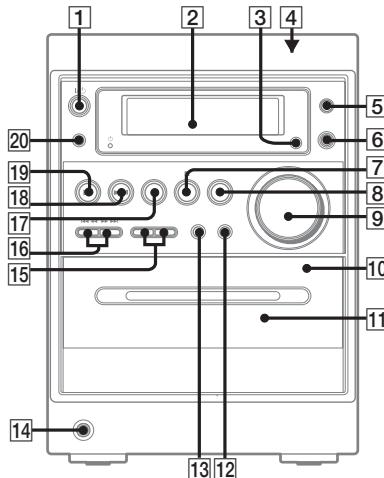
* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定
値です。



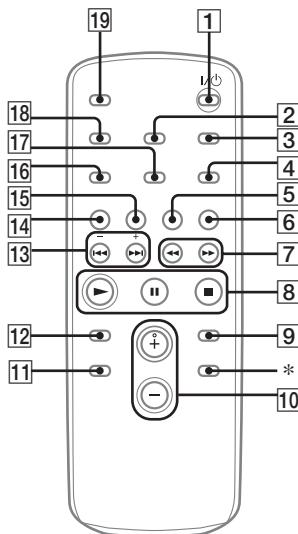
- 待機時消費電力0.3W以下
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- 主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用
- システムの本体キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません

各部のなまえ

本体



リモコン



[1] I/O (電源) スイッチ

(7、8、9、19、20ページ)

[2] 時計/タイマーの選択ボタン

(19、20、24ページ)

[3] 時計/タイマーの設定ボタン

(7、8、18、20ページ)

[4] リピートボタン (10ページ)

エフェク
FMモードボタン (14、27ページ)

チューナー バンド

[5] TUNER/BAND

(11、12、13、14ページ)

[6] FUNCTION (22、28ページ)

[7] <>/>> (早戻し/早送り)

(9、15、29ページ)

[8] >> (再生)

(9、11、15、25ページ)

[II] (一時停止)(9、15ページ)

[■] (停止)(9、12、15、16、17、29

ページ)

[9] 決定ボタン (7、8、11、12、18、19、20ページ)

[10] 音量 +/- ボタン (18、24ページ)

[11] サウンドボタン (17ページ)

[12] クリアボタン (11ページ)

[13] <</>> (頭出し) (7、8、9、10、18、19、20、29ページ)

+ / - (チューナー)

(12、13、14、17ページ)

テープ
[14] TAPE ボタン (15ページ)

シーディ ·

[15] CD ボタン (9、10ページ)

[16] チューナーメモリー ボタン (12ページ)

[17] 再生 モード ボタン

(9、10、11、26、29ページ)

チューニング モード ボタン

(11、12、13、14ページ)

[18] 表示 切替 ボタン

(14、21ページ)

[19] スリープ ボタン (18ページ)

* このボタンは使用できません。

索引

あ行

音質の調節 17

か行

誤消去防止ツメ 31

さ行

サーチ 9

自動受信 11

手動受信 12

シンクロ録音 16

スリープタイマー 18

接続

アンテナ 4

外部アンテナ 23

スピーカー 4

別売りの機器 22

節電モード 21

は行

プリセット受信 13

プログラム再生 10

ま行

マニュアル受信 14

マニュアル録音 16

ら行

リセット 28

リピート再生 10

録音タイマー 20

A - Z

AMアンテナ 5

FMアンテナ 5

アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ

アイワホームページ ● <http://www.jp.aiwa.com/>

アイワホームページは、アイワの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「サポート情報」や「よくあるご質問(FAQ)」に関しては、ホームページをご活用ください。

アイワお客様ご相談センター

● ナビダイヤル……………  0570-00-4680

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…………… 0466-31-4833

(ナビダイヤルがご利用になれない場合はこちらをご利用ください。)

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

● FAX…………… 0466-31-4250

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35